

横山幸次

区政報告
ニュース

347

2009年4月19日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページを
ご覧下さい。
「横山区議」で検索し
て下さい。

新年度 学校選択制導入8年目… 地域と学校の関係、そして子どもは

五峡小学校(上)
原中学校(下)



**全国では「見直し」の動きも
やはり、子どもを中心に
した検証が必要**

今年も新年度を迎え、多くの子どもたちが学校に通ういつもと変わらない風景が目に入ります。ところが、変わらぬこの風景もその中身はずいぶん変わっているようです。

町屋地域も川沿いのマンション建設が進み、人口が一定増加し児童・生徒も増えていきます。五峡小、原中の学区は、いちばん子どもたちが増えた地域です。

しかし、入学者数は、学区内児童生徒の五峡小で半数、原中は、三分の一です。なぜこうなったのでしょうか。

うか。風評はなかったのでしょうか。学校に問題が起ころうと、地域の保護者はじめ「地域力」で解決していく力が無くなっているのではと懸念の声も聞かれます。あらためて、学校選択制施行8年目、地域、子ども、教育現場などすべての分野で検証が必要ではないでしょうか。

区議会について考える…あるべき姿は？ 「地方議会」のあり方を考えてみませんか

「荒川区議会どうなっているの」…高額な議会費問題などテレビ朝日報道をめぐって区民のみなさんから意見が寄せられています。また報道では、本会議、委員会の映像取材やホームページで公開されている会議録や音声使用の是非をめぐる問題が浮上。そんなおり「全国市区議会ランキング」で回答した764市区中荒川区が93位という順位を目にしました。これはどういうことか？荒川区議会は、一番大事な議会一般質問を事実上1人年1回に制限、議会の映像取材も与党会派が拒否…。この順位に大きな疑問を感じます。区民のみなさんと一緒に区議会を考え、区民に開かれた議会改革を進めたいと思います。(裏面をご覧ください)

	2009年度入学数			2008年度入学数		
	通学区域内 入学数	入学数	(内区域内)	通学区域内 入学数	入学数	(内区域内)
四峡小	30	74	20	22	66	17
五峡小	112	63	50	76	49	45
七峡小	58	55	28	61	59	48
大門小	62	54	40	65	59	49
合計	262	246	138	224	233	159
五中	160	115	63	146	97	58
原中	149	46	36	143	69	44
合計	309	161	99	289	166	102

入学数は09年4月現在
(内区域内)は各年11月現在で、4月入学時では若干の変化あり

裏面 区政・議会情報です

定例法律相談

5月12日(火)
午後6時～8時
横山区議事務所

(注)前号で5月11日(月)とお知らせしましたが、弁護士の都合で12日(火)に変更しました。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。



「ふたり」(上)昨年受賞の「Black Gaze 1」
(下)でいずれも区役所前公園に展示



荒川区が東京芸大と提携して大学、大学院の卒業終了作品に区長賞を贈りはじめて今年で三回目。先日、区役所前でお披露目がありました。今年は、「ふたり」(天野浩子さん)、「風の音」(内田麻ゆさん)の二作品が受賞しました。その内、「ふたり」が区役所前、「彫刻」巡りもおすすめてです。

前の公園に展示されています。「風の音」は、男女平等センターです。ちなみに、第一回「旅人」は、あらかわ遊園、第二回の「BORG」は区役所前です。せっかくの芸大生の作品です。連休お出かけの予定がなければ、区内の「彫刻」巡りもおすすめてです。

横山幸次

まちな話 あれこれ
芸大生の彫刻がまた区役所前にやってきました
アートなまちに変わるかどうか…でも回ってみては



町屋6丁目障害者地域支援施設の事業者公募がはじまります

(旧母子寮跡地)



母子寮跡地(左)
上から都営住宅
隣保館保育園・
現母子寮

荒川区の障害者施策で問われるもの
誰でもが住み続けられる「まち」が基本

町屋六丁目旧母子寮跡地に障害者施設ができることはす
でにお知らせしています。

親亡き後の問題も深刻です。



今回、区議会に事業者募集と事業内容が報告されました(事業内容は左囲み参照)。どれも必要な事業ばかりです。今年九月までに事業者を決め、三年後の開設をめざします。

日本共産党区議団は、以前から親亡き後、居住の場の確保を繰り返し求めてきました。町屋六丁目地域は、母子寮

区の説明でも、地域生活を支える日中活動の場や居住の場の整備など必要としています。特に重度心身障害者のグループホームはありますが、

入所施設はなく、他地域に入所しているのが現状です。また、これからの求められます。

サルデザイン、公共交通の先進地域として積極的な整備が

【障害者地域支援施設事業の概要】

自立支援給付事業

共同生活介護(ケアホーム) 14名以上

短期入所(ショートステイ) 10名以上

地域生活支援事業(区が運営委託)

地域生活支援センター 定員15名以上

施設入浴(18歳以上)

相談支援

日中一時支援 定員10名以上

移動支援事業 定員14名以上

今年9月中に事業者選定

2012年4月開設予定

「区議会改革」はどうなる...No.1

荒川区議会では、どこまで公開されているの!?

荒川区議会では、議会での議論のほとんどが公開されています。その内容を見ると...

会議録...本会議、全ての委員会の会議録を完全公開、インターネットでも閲覧可能です。

会議録ができるまで、インターネットで全ての委員会の質疑を音声で聞くことができます。

予算・決算特別委員会は、各会派の総括質疑をケーブルテレビで数回放送しています。

本会議は、インターネットのみ録画で流しています。(全員協議会や幹事長会はまだ非公開)

もちろん傍聴もすべて出来ます。しかし、今回の議会で映像撮影拒否や報道への使用を拒否した主張は、改革に逆行するするのではないのでしょうか。

雇用からくらし、福祉...お気軽に相談ください

「派遣切り」など大量解雇、中小企業は、下請け単価切り下げなど深刻な事態が広がっています。医療、介護も深刻です。日本共産党区議団・横山区議は、法律等の専門家、医療・福祉関係者とも連携して相談活動を行っています。

電話 3895-0504 (横山事務所)
不在時は留守電に... (必ずご連絡先を)

《お知らせコーナー》

南千住の特養ホーム事業者が「三幸福社会」に決まりました

区は、4月16日の福社区民委員会で南千住リサイクルセンター跡地に誘致する特別養護老人ホームを建設・運営する事業者の決定を行ったと報告しました。

それによると、選ばれたのは社会福祉法人「三幸福社会」で葛飾区青戸に所在し、同区内に2カ所の特養ホームを開設しています。(下写真)

この公募には19法人が参加、一次審査で5法人選定、さらに総合評価など行って決定したとしています。評価が高い点は、多床室とユニット型個室双方の運営実績がある、経営母体である学校法人が介護福祉士養成専門学校など持っており職員確保が容易などあげています。

いずれにしても、特養待機者700人という深刻な実態の解決が急がれます。



三幸福社会が運営する特養ホーム癒しの里亀有(左)、癒しの里青戸(上)